

●大田原市の状況 ～ 後継者の状況 ～



《分析の視点》

5年以内に後継者未確保の農業経営体における経営耕地面積を把握し、将来的な農地の受け入れ先として期待される法人経営体、集落営農が存在する農業集落を重ね合わせることで、農地集積等を検討

【凡例】※ [] は該当農業集落数

▨ 集落営農有 [19]

▤ 法人経営体有 [28]

5年以内に後継者未確保7割以上の集落での経営耕地面積

■ 100ha以上 [15]

■ 50 - 100 [29]

■ 30 - 50 [21]

■ 10 - 30 [19]

■ 10ha未満 [9]

□ 該当なし [66]

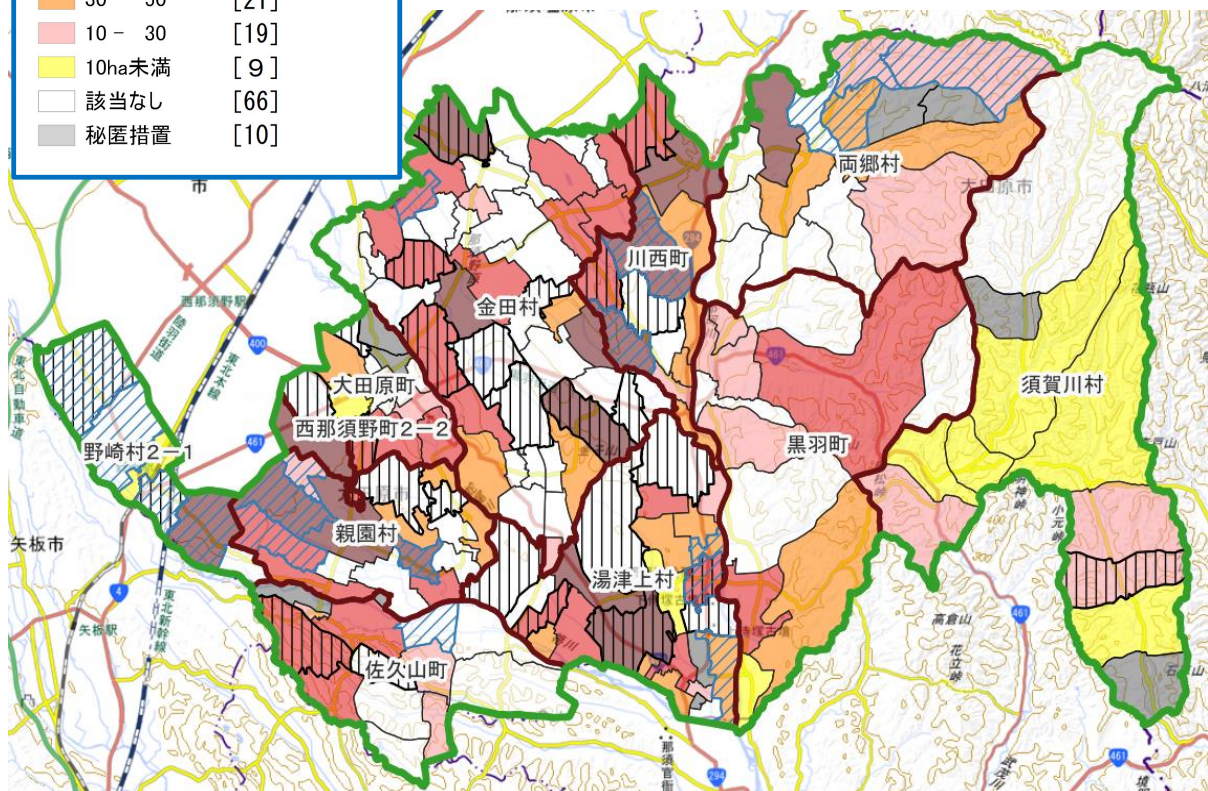
■ 秘匿措置 [10]

【境界線】

— 市町境界

— 旧市町村境界

— 農業集落境界



出典：国土地理院標準地図 (<https://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html>)

使用したデータ

●農林業センサス (2020年)

- ・組織経営体別経営体数
- ・5年以内の後継者の確保状況別経営体数
- ・経営耕地の状況

●集落営農実態調査 (2021年)

- 旧市町村境界
- 農業集落境界

活かすDB

検索

↑地図化の詳細はこちらから→



(計算方法)

後継者を確保していない経営体数割合＝

後継者を確保していない農業経営体数／農業経営体数